

# ネオリベリズム経済下でのアルゼンチンにおける外資系企業と不平等の拡大

外国語学部イスパニア語学科 4 年

A9954041 中田 浩子

はじめに

アルゼンチンはかつて南米の優等生とも呼ばれるような国であったが、2001 年の経済危機ではその社会構造や成長モデルが脆弱であったことを露呈する結果となった。現在のアルゼンチン経済が抱える問題はいくつもの要因が複雑に絡み合って起こるものであり、ひとつの要因に集約されるものではない。当論文で扱う外資系企業の進出に不平等の広がりや中産階級の没落などのすべての原因を関連付けるのは不自然であろう。しかしながら、一定の視座から切り込まなければ問題を明確に捉えられないし、ある一定の期間に特徴的な政策が行われ、それに伴い国民に望ましくない事態が拡大したならば、その原因、メカニズムについて特徴的な政策とのつながりを調べることは有意であると思う。

そこでこの論文では民営化によるものとそうでないものも含め、外資系企業の進出がアルゼンチン国民の生活の経済的側面にどのような影響を及ぼしているかについて詳細に述べることにする。具体的には、失業および所得格差、労働の質の格差、公共サービスのアクセス、産業の外国化という複数の視点からこの論文では分析を行う。

まず、民営化による外資系企業の進出が起こった背景としての新自由主義政策を概観する。その後、アルゼンチンにおいて外資系企業が占める規模や、分野別の特徴に簡単に触れる。

次に、さまざまな側面で広がりつつある不平等のうち、労働者と外資系企業とのかかわりで生まれた不平等について述べてゆく。ここでは失業・所得格差、労働環境の不安定さ、労働の質を問題とする。

第四章では外資系企業から財やサービスを提供される側である消費者の立場から、サービスへのアクセスに格差が生じており、それが主に外資系企業の市場独占によるものであることを明らかにする。

最後に第五章では、アルゼンチンの産業自体が外国化していくことによって、将来の自主的な成長が阻まれるかもしれないという危険性について述べる。

その結果、投資受入国の国民側から見た場合に、アルゼンチン政府が 90 年にとった政策の結果としての外資系企業の進出が総じて望ましくなかったと結論付ける。

参考文献

堀坂浩太郎、細野昭雄、古田島秀輔『ラテンアメリカ多国籍企業論』日本評論社、2002年。

宇佐見耕一 編 『ラテンアメリカ福祉国家論序説』アジア経済研究所、2001年。

ジョセフ・E・スティグリッツ 『世界を不幸にしたグローバリズムの正体』徳間書店、2002年。

西島章次『ラテンアメリカ経済-新経済自由主義の帰結と今後の課題』世界経済評論 2000年2月号。

Emilio Klein, Victor Tokman "Social stratification under tension in a globalized era " *CEPAL Review* 72, 2000.

Matías Kulfas, Fernando Porta, Adrián Ramos "Inversión extranjera y empresas transnacionales en la economía argentina" CEPAL *SERIE Estudios y Perspectivas*. 2002 Burns Aires

Katz, Jorge *Pasado y presente del comportamiento tecnológico de América Latina*, Santiago de Chile, CEPAL, 2000

Jorge Katz, Giovanni Stumpo. *Regímenes competitivos, productividad y competitividad internacional*. Santiago de Chile, CEPAL, 2001.

Jorge M. Katz *Structural reforms, productivity and technological change in Latin America*. Santiago CEPAL 2001.

*Los caminos hacia una sociedad de la información en América Latina y el Caribe*. Bávaro, Punta Cana, República Dominicana 2003.

Martin R. Hilbert *Latin America on its path into the digital age: where are we ?* Santiago, Chile 2001.

Daniel chudnovsky, Bernardo Kosacoff, Andrés López. *Las multinacionales latinoamericanas : sus estrategias en un mundo globalizado* . Argentina, Fondo de Cultura Económico de Argentina S.A. 1999.

Pedro Pírez "The management of urban services in the city of Buenos Aires" *Environment and Urbanization*, Vol.10, No.2, 1998.